

昭和27年の夏作にどのような品種が多く作付されたか？

(総務部調査課縣勢調査係)

1. 調査の概要

地域に適した品種を栽培することは農業経営の要素の一つである。品種の分布状況を調査しておくことは、新品種の育成、栽培技術の指導等農業経営の改善に益するところが多いが品種分布状況、品種別作付面積の正確な調査が行はれてないので、各方面からの要望により県調査課は各市町村の協力の下に抽出調査の方法により約1万1千の農家から自計申告による調査の実施を推定した。

2. 調査の結果の概要と変遷

この調査にあらわれた品種は、これを専門的に検討すると同一品種が地方的方言をもつて呼ばれているものも含まれているが、その品種数は次のとおり多きにわたっている。

イ、水稻うるち 294 ロ、水稻もち 78 ハ、陸稻うるち 37 ニ、陸稻もち 44
ホ、大豆 110 ヘ、甘薯 37

作物別品種別作付状況及びその変遷をしめすと次のとおりとなる。

イ、水稻 うるち

本年の推定作付面積は85,694町となり、本県奨励品種の作付面積は63,040町と総作付面積の73.6%をしめ、前年と比較するに作付面積において7,890町の増加、割合においては7.7%の増加となつている。奨励品種中作付面積の最も多いものは農林19号27,572町(総作付の32.2%)であり、次に農林25号9,768町(総作付の11.4%)農林1号8,528町(総作付の10%)農林35号5,607町(総作付の6.5%)東山48号4,826町(総作付の5.6%)トネワセ2,841町(総作付の3.3%)農林14号2,481町(総作付の2.9%)無芒愛国1,088町(総作付の1.3%)愛国茨城2号329町(総作付の0.4%)となる。

奨励品種以外の品種で作付の多いものは、八州千本4,874町農林8号3,101町農林36号1,902町東山37号1,301町等である。

主なる品種の作付割合を前年と比較すると次のとおりである。

	総作付	農林1号	農林14号	農林25号	農林29号	農林35号	トネワセ	東山48号	無芒愛国	愛国茨城2号	農林8号	農林36号	東山37号	八州千本
昭和27年	100.0	9.95	2.90	11.40	32.17	6.54	3.32	5.68	1.27	.38	3.66	2.22	1.57	5.69
昭和26年	100.0	7.74	3.71	10.85	29.82	2.25	2.48	6.76	1.36	.28	4.05	.88		6.78
比較増減(△印減)		2.21	△.81	.55	2.35	4.29	.84	△1.13	△.09	.10	△.84	1.34	1.57	△1.09

ロ、水稻 もち

本年の推定作付面積は、5,706町となり、前年に比し350町歩の減を見ている。本県奨励品種太平糶は、888町(総作付の15.6%)となり、奨励品種以外の赤糶873町(総作付の15.3%)千本糶820町(総作付の14.4%)が同程度作付され、その他太郎兵糶、埼玉糶等が多く作付されている。

主なる品種の作付割合を、前年と比較すると次のとおりである。

	總作付	太平糶	千本糶	關取糶	赤糶	埼玉糶	太郎兵糶	平六糶
昭和27年	100.0	15.56	14.37	9.74	15.30	10.65	11.65	2.00
昭和26年	100.0	13.95	14.15	9.28	12.53	7.60	7.60	1.42
比較増減(△印減)		1.61	.22	.46	2.77	3.05	4.05	.58

ハ、陸稻 うるち

本県の推定作付面積は8,671町となり前年に比し2,611町の減少をしめしている。本県奨励品種の作付面積は6,344町と総作付は面積の73.2%をしめしている。うち作付面積の最も多いものは農林12号8,586町(総作付の41.4%)であり、次に農林21号1,898町(総作付の21.9%)農林7号860町(総作付の9.9%)の順となる。

奨励品種以外では、身代起、黒禾の二品種が500町前後作付されており、その他の品種は僅少である。主なる品種の作付割合を、前年と比較すると次のとおりである。

	總作付	農林7號	農林12號	農林21號	身代起	黒禾	石川早生	凱旋
昭和27年	100.0	9.92	41.36	21.88	6.02	5.59	1.22	2.87
昭和26年	100.0	12.01	36.51	15.29	4.50	5.34	.88	1.27
比較増減(△印減)		△ 2.09	4.85	6.59	1.52	.25	.34	1.60

ニ、陸稻もち

本年の推定作付面積は7,970町と前年に比し436町の増加をしめしている。

本県奨励品種の作付面積は、5,329町(総作付の66.9%)となり、うち農林糯26号3,251町(総作付の40.8%)農林糯3号2,078町(総作付の26.1%)となつている。

奨励品種以外の品種では凱旋糯937町(総作付の11.8%)最も多く、その他の品種の作付面積の3%以下の作付にすぎない。

主なる品種の作付割合を前年と比較すると次のとおりである。

	總作付	農林糯3號	農林糯21號	ハタコガネ	美濃糯	凱旋糯	黒禾糯	関東3號	関東41號
昭和27年	100.00	26.07	40.79	2.53	3.31	11.76	2.34	.89	1.36
昭和26年	100.00	28.84	28.23	3.40	2.88	16.02	2.46	.77	1.18
比較増減(△印減)		2.77	12.56△	.87	.43△	4.26△	.12	.12	.18

ホ、大豆

本年の推定作付面積は18,186町であり、前年に比し1,124町の作付減少となつている。

本県奨励品種中最も作付の多いものは生娘3,820町(総作付の21%)であり、次に農林2号3,090町(総作付の17%)農林1号2,210町(総作付12.2%)花嫁1,884町(総作付の9.3%)農林3号1,528町(総作付の8.4%)と奨励品種は總作の67.8%をしめている。

奨励品種以外の品種では地塚1,377町(総作付の7.6%)オイラン1,081町(總作付の5.9%)が普及されその他の品種では御社292町、白花212町、早生赤莢147町、青豆151町等である。

主なる品種作付割合を前年と比較すると次のとおりである。

	總作付	農林1號	農林2號	農林3號	花嫁	生娘	御社	地塚	オイラン	白花	早生赤莢	青豆
昭和27年	100.00	12.15	16.99	8.40	9.20	21.01	1.61	7.57	5.94	1.17	.81	.82
昭和26年	100.00	10.48	10.40	6.52	10.15	20.78	1.60	5.90	6.60	1.56	—	—
比較増減(△印減)		1.67	6.59	1.88	△ .95	.23	.01	1.67△	.66	.39	.81	.82

ヘ、甘藷

本年推定作付面積は26,070町と前月に比し2,489町と激増をしめしている。

本県奨励品種の作付面積は23,936町と総作付の91.8%と普及されている。

奨励品種の品種別作付面積は、次のとおりとなつている。

農林1号 10,211町(総作付の39.2%) 農林2号 362町(総作付の1.4%) シロセンガン 1,647町(総作付の6.3%) 関東27号 52町(総作付の0.2%) 太白 2,778町(総作付の10.7%) 飯郷542町(総作付の2.1%) 沖繩100号 7,118町(総作付の27.3%) 茨城1号226町(總作付の4.7%)

奨励品種以外の品種では、護国339町関東3号257町佐山237町農林4号234町オイラン212町等が多い。

主なる品種について作付割合を前年と比較すれば次のとおりである。

	總作付	農林1號	農林2號	シロセンガン	関東27號	太白	飯郷	沖繩100號	茨城1號	農林4號	関東3號	護國	紅赤	佐山
昭和27年	100.00	39.17	1.39	6.32	.19	10.66	2.08	27.31	4.70	.90	.99	1.30	.69	.91
昭和26年	—	39.86	.29	1.82	—	14.77	3.63	24.22	4.36	1.55	1.40	1.35	1.12	2.00
比較増減(△印減)		△ .69	1.10	4.50	19	△ 4.11	△ .55	3.09	.34△	.65△	.41△	.05△	.43△	1.09